

「低炭素社会を目指す 九州モデル」の検討について（案）

平成 21 年 6 月 2 日
九州地域戦略会議
「温暖化抑制・意見情報交換会」

1. 目 的

国の温室効果ガス排出量の中期目標の設定(ターゲットは2020年)を踏まえ、今後、温暖化対策への取組みが一段と求められることとなる。

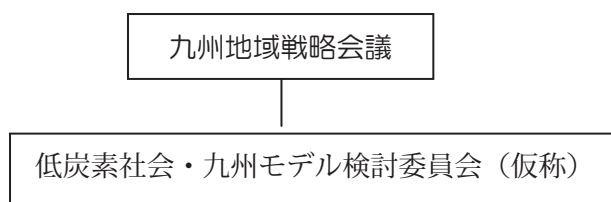
九州は、太陽電池等の環境関連産業が盛んであると同時に、豊かな森林資源等も有しており、温暖化対策に官民一体で取り組むことにより、環境産業等の振興を図るとともに、環境トッパーとしての地位を確立し、豊かな低炭素社会の実現と経済成長の両立を目指す。

2. 九州モデルの考え方

- (1) 温暖化に対する危機意識の共有化（温暖化の現状と見通しの共通認識）
- (2) 九州一体かつ官民で取り組む事業の検討
- (3) 低炭素社会実現のためのアクションプランの策定

3. 検討体制

九州地域戦略会議のもとに産学官からなる検討委員会(仮称)を設置。



4. 低炭素社会・九州モデル検討委員会（仮称）の構成（案）

- ・有識者（3名）：座長 1 名、委員 2 名
- ・行政（7名）：九州各県（各部長級）
- ・経済団体（4名）：九経連、九同友、九商連、九経協（各副会長、代表幹事級）
- ・企業（6名程度）：産業部門企業代表、新工ネ部門企業代表、業務部門企業代表、運輸部門企業代表、中小企業代表 等 合計 20 名程度

- ・事務局：九経連、大分県の共同

5. 検討期間

平成 21 年度から 2 年間程度

〔 6/2 戦略会議で承認後、検討委員会を設置。1 年後を目途に中間報告、2 年後に最終とりまとめを行い、戦略会議に報告 〕

6. 検討予算：

国交省の「広域地方計画先導事業」（本年 4 月公募）に九経連が窓口となって応募し、5 月中に決定予定。（平成 21～22 年度の 2 力年計画。申請予算は 21 年度分 2 千万円）